

ご存知ですか？

地域福祉権利擁護事業

■ 地域福祉権利擁護事業ってなに？ ■ どのような人がお手伝いしてくれるの？

判断能力が十分でないため、毎日の暮らしのなかで、福祉サービスの利用の仕方や手続きがよく分からなかったり、日常のお金の管理が不安な人が地域で安心して生活を送れるように支援するものです。

■ どのような人がつかえるの？

認知症状のある高齢者、知的障害のある人、精神障害のある人など。

■ どのようなことをお手伝いしてくれるの？ ■ お金はかかるの？

①福祉サービスの利用の助言

⇒福祉（介護）サービスの利用をお手伝いします。

福祉サービスの利用に関する情報の提供、助言など

②日常的金銭管理サービス

⇒暮らしに必要なお金の出し入れをお手伝いします。

銀行や郵便局の出入金、日用品購入などの支払い手続き、医療費に支払い手続きなど

③書類などの預かりサービス

⇒大切な財産の管理が困難な場合、その財産を金融機関の貸金庫で保管します。

年金証書、預貯金の通帳、実印、銀行印 など

社会福祉協議会の自立生活支援専門員と生活支援員です。

★自立生活支援専門員とは？

悩みごとの相談を受けて、適切な支援計画を作成し、契約の内容に沿って、定期的に訪問します。福祉サービス利用の手続きや預貯金の出し入れをします。

★生活支援員とは？

契約の内容に沿って、定期的に訪問します。福祉サービス利用の手続きや預貯金の出し入れをします。

相談や支援計画の作成は無料です。福祉サービス利用料支払いや金銭管理などのサービスを利用する際は有料です。（※ただし、収入の状況により無料となる場合があります。）

①福祉サービス利用の助言、日常的金銭管理

1回（30分以内） 500円

②書類等の預り（貸金庫使用）

1年 3,600円

■ お問合せ先 ■

甲良町社会福祉協議会 電話：0749-38-4667

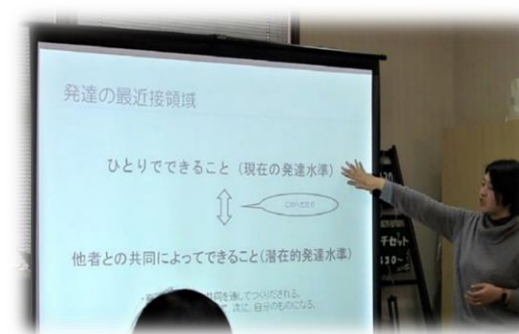
工房 せせらぎ

お問い合わせは

0749-38-3975（せせらぎ作業所）または 090-3821-6635（喫茶）まで。

■ せせらぎ（作業所）職員研修開催しました

11月22日（金）、せせらぎ作業所職員全員の研修を行いました。彩社会福祉士事務所（大津市）代表の坂本彩様に来所いただき「知的障害ってどんな障害？」というテーマで90分講義して頂き、障害をもった人々への支援の在り方を学びました。他者と比較するのではなく、その人の3年前と現在、去年と今年を比較し必要な支援を行っていく等、参考になる具体例を示していただき勉強できました。質疑応答も活発に行いました。学んだ事を今後の仕事に役立てていきます。



■ 工房せせらぎでチェロの生演奏



毎週水曜日 12:00～12:40、工房せせらぎ（喫茶店）にてチェロの生演奏をして頂いています。長年ドイツに駐在されていた野瀬正彦様によるチェロの音色がお店に広がりゆったりとした気分がパンやコーヒーを召し上がって頂けます。クラシック音楽のほかにも演歌や童謡もリクエストに応じ演奏されます。ぜひお越しください。



折り紙 ミニ教室のお知らせ

12月から2月までお休みします。

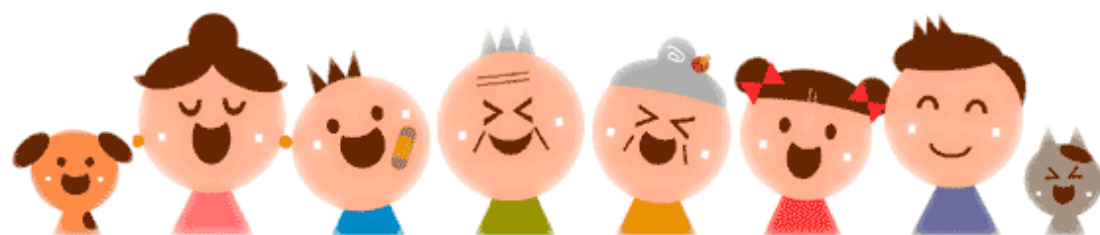
3月からは開催しますので皆様の

参加お待ちしております！！



社協サービス（障害者福祉事業等）に関する苦情受付について

■ 苦情受付窓口	社会福祉法人 甲良町社会福祉協議会
■ 受付時間	9:00～17:00（毎週月～金曜日） ※土・日・祝日は休業いたします。
■ 電話番号	0749-38-4667
■ 第三者委員	片岡 清 小林 日登美



甲良町がひとつの家族となるようなまちづくりをめざして

編集・発行 社会福祉法人 甲良町社会福祉協議会

〒522-0244 滋賀県犬上郡甲良町在土357-1 甲良町保健福祉センター2階

電話 0749-38-4667 ファックス 0749-38-4668

ホームページ <http://www.shakyo.or.jp/hp/1132/>

コミュニティカフェ開設講座 ～活動報告～

甲良町社会福祉協議会では、コミュニティカフェ開設講座を開催しました。
講座には、たくさんの方々にご参加いただきありがとうございました。講座の様子をご紹介します。

第1回「コミュニティカフェを始めませんか？」

竜王町社協より講師をお迎えし、コミュニティカフェの取り組みについての講演会終了後、グループワークを行い、自分が開設してみたいカフェについて話し合いました。



滋賀日産自動車株式会社様 ありがとうございました！！

この度、滋賀日産自動車株式会社様より、車いすを寄贈していただきました。

滋賀日産自動車株式会社様は、お客様に振込みを依頼し、収入印紙代を削減。その相当額を積み立てて、福祉施設に車いすを寄贈しておられます。貸出し用車いす等の地域福祉推進のために有効に使わせていただきます。



善意の小窓

各ご家庭で、次のようなものがありましたら町内の福祉活動に活用させていただきますので、ご提供をお願いします。

- ＊衣類、くつ下、タオルなどの未使用品
- ◆但し物品によっては、活用をさせていただけない場合もありますのでご了承ください。

～福祉車両貸出中～

車いすのまま乗れるスロープ付きの福祉車両を貸出します。

- ・病院の送り迎えで困られている方
- ・買い物等の外出で困られている方 等
- ・燃料費として 15 円/1km をお支払いいただきます。

※詳細に関しては、お問い合わせください。

生活にお困りの方の自立に向けた 相談支援窓口を開設しています！

相談無料

もう一人で悩まないで！
あなたのお悩み、
ご相談ください！！



～こんな理由で生活にお困りの方に～

- ・収入が不安定であり、家賃や税金を滞納している
- ・家族が病気やひきこもりのため仕事ができない
- ・心身に不調があり、就職が困難である など



相談支援窓口
甲良町社会福祉協議会
TEL：0749-38-4667

第2回「コミュニティカフェを見学してみませんか？」

竜王町の岡屋地区のコミュニティカフェに出向き、実際に、どんな方がどのようにカフェを運営されているのか、いろいろとお話を聞いてきました。

★立ち上げ経緯★

- ・4年前に社協からの声かけがきっかけ。
- ・高島市へ研修に行き、自治会とも相談し開催決定。
- ・準備から開店までは1～2カ月。
- ・ボランティアは、福祉委員、民生委員、健康推進員の経験者を中心に有志が集まる。
- ・始動したのは「カフェやりたい」と思ったボランティア側。

★カフェのこだわり★

- ・温かく、明るいイメージにするため看板や暖簾を手作り。
- ・こぼしても大丈夫のように一人ずつトレにのせている。
- ・季節によりメニューを変更。
- ・利用者の持ち込みはしない。
- ・手ぶらでは気が引けるので100円頂いている。
- ・「自分たちのできる事を楽しんでやる」



★運営について★

- ・おしゃべりがメインなので内容（プログラム）は決めていない。
- ・公民館という場所の提供が大きい。
- ・公民館にあるものを使わせて貰っている。
- ・お花やお菓子はボランティアの持ち寄り。
- ・運営資金は基本的に利用料のみ。区の事業になっているので、それぞれに予算はついていますが、カフェ運営は、立ち上げ時以外は成り立っている。
- ・活動記録としてはつけている（補助金の決算報告等）は出しているが、特に難しい報告書は作っていない。
- ・ボランティアは何人かお休みしても運営できる内容にしている。
- ・男性ボランティアは、区長、区役員、老人会、民生委員、有志の方が参加。
- ・色んなところを巻き込んで協力して貰っている。



★ボランティアの声★

- ・一人でするのではない。
- ・こういう場ができて良かった。
- ・私たちの活動の場がある。
- ・私たち自身がここへ来たい。
- ・楽しくやっているので困っていることはない



★利用者★

- ・固定化がみられるが、20～25人の参加者がおられ、お互いの顔を見せる場として定着している。
- ・子育て世代にも声かけをしている



興味を持たれた方・開設したい方 ご連絡は甲良町社協まで

電話 0749-38-4667

